

児童発達支援事業における自己評価結果

運動療育センターりはなすいとだ

公表日 令和7年 3月 31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1	状況に合わせて陣配置ができている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11		基準人員を満たしている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1		学習室は時計の位置など工夫してもよいかも
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	1	部屋数は少ないが環境を用意している	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	1		職員の目標設定のみ行われている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		表記研修に適宜参加している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		定期的に会議を行なっている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11		利用者の状況や保護者の意見を取り入れている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		職員間で情報共有を行なっている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	1	主に集団行動が多い	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	2	職員間で情報共有を行なっている	打ち合わせの頻度が少ない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		情報の共有は行なっている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11			

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	1		
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	4		児童発達支援センターとの繋がり薄い
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	7		園との合同での活動は少ない
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	1		
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	3		
保護者への説明等	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11			
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11			
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11			
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11			
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	4	季節行事の中で交流できるように工夫している	交流会はないが行事に交流している
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11			
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11			
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11			
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11			
非常時等の対応	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	3		地域住民を交えて活動は少ない
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11			
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11			関係機関の職員を招待している
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11			
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	2	定期的に訓練を実施している	
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11			
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11			
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11			
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11			
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	1		

保護者等からの児童発達支援評価の集計結果

事業所名		運動療育センターりはなすいとだ					公表日	令和7年 3月 31日
		利用児童数					0	回収数 0
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。						
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。						
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。						
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。						
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。						
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。						
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。						
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。						
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。						
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。						
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。						
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。						
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。						
	29	事業所の支援に満足していますか。						

事業所における児童発達支援の自己評価総括表

○事業所名	運動療育センターりはなすいとだ			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～	令和7年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数)	0
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～	令和7年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表検討会議日及び作成日	検討会議日 令和7年 2月 28日		作成日 令和7年 3月 1日	

○検討会議を行なった上での 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所で行われている、個別支援計画に係るサービス提供について、自己評価が高い。（利用数が0人のため自己評価のみで判断する）	週一回の支援会議を通じて、各利用者の課題の状況や背景を関係職員に共有し、具体的な支援内容を話し合っている。 （利用数が0人のため放課後等デイサービスでの取組等を記載する）	支援会議にて周知方法の更なる工夫を行う。その上で具体的な支援方法を考える取組を行うと同時に事業所として取り組みを行う。
2	モニタリング時や支援計画の説明時、また子育てに関する相談について、自己評価では適切に対応できている意見が大半を占めている。（利用数が0人のため自己評価のみで判断する）	傾聴を基本とした受容的な対応を心がけている。また、利用者の置かれた状況や心理的な状況などを大切にする視点を持つように対応している。（利用数が0人のため放課後等デイサービスでの取組等を記載する）	事業所に配備してある接遇マニュアルを再度各職員が確認を行い、その上で接遇などでは更に満足が高い対応を目指す。
3	日々の業務の中で保護者との連携について、自己評価が高く共感的な対応を各職員が行なっている。（利用数が0人のため自己評価のみで判断する）	連絡ノートと送迎時を活用し連携できる方法と時間を大切にしている。（利用数が0人のため放課後等デイサービスでの取組等を記載する）	今後も細かい状況を伝えるために連絡ノートや送迎時での引き継ぎを活用する。その中で今以上に詳細な連絡交換を意識して取り組みを行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会が少ない。（利用数が0人のため自己評価のみで判断する）	交流の機会創設などの取組が不足している。	地域のイベントに積極的に参加する取組を検討する。
2	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会が少ない。（利用数が0人のため自己評価のみで判断する）	助言などを必要に応じて受けるさい、必要な窓口などの情報が不足している。	必要に応じ必要な窓口の情報を集めて運用を検討する。
3			

放課後等デイサービス事業における自己評価結果

運動療育センターりはなすいとだ

公表日 令和7年 3月 31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	1	部屋数は少ないが環境を用意している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	1		職員の目標設定のみ行われている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	11			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	1	主に集団行動が多い	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	2	職員間で情報共有を行なっている	打ち合わせの頻度が少ない
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	4	情報の共有は行なっている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11			

	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	11			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11		送迎時に必要範囲で連携を行い、それ以外に必要な事柄に対しては会議で実施している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	5		児童発達支援センターとの繋がりは薄い
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	6		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	3		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	3	季節行事の中で交流できるように工夫している	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		保護者からの意見や相談に対しては職員間で共有と対応を検討している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	3		地域住民を交えて活動は少ない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11		定期的に訓練を実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11		定期的に訓練を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	1		

保護者等からの放課後等デイサービス評価の集計結果

事業所名		公表日					令和7年 3月 31日	
運動療育センターりはなすいとか		利用児童数					25	回収数 21
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	1			・机上の部屋と運動の部屋が分かれていて良い	・引き続き、活動に応じた環境整備を行ってまいります
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21				・十分に感じる	・引き続き、基準人員を守り更には必要に応じた人員配置を行ってまいります
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1		3	・机上の部屋と運動の部屋が分かれていて良い	・引き続き、活動に応じた環境整備を行ってまいります
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20			1	・机上の部屋と運動の部屋が分かれていて良い	・引き続き、活動に応じた環境整備を行ってまいります
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20			1	・連絡ノートでの様子の文をみてその通りだと感じる	・今後も今以上に良質な支援を提供できるように努めてまいります
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19			2	・十分に感じる	・今後も今以上に良質な支援を提供できるように努めてまいります
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	1			・我が子の苦手なことをとらえられた計画になっている	・今後も今以上に良質な支援を提供できるように努めてまいります
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19			2	・適切と感じる	・今後も今以上に良質な支援を提供できるように努めてまいります
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21				・思う	・今後も今以上に良質な支援を提供できるように努めてまいります
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1		5		・支援プログラムの工夫がもっと分かりやすくお伝えできるように取り組んでまいります
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	1	9		・送迎時などを活用して放課後児童クラブとは連携を行ってまいります。今後はご希望や必要に応じて交流に向けた検討を行ってまいります
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21					・引き続き、説明責任を果たせるようにつとめてまいります
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	1		1		・引き続き、説明責任を果たせるようにつとめてまいります
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	2	1	5		・保護者様やご家族様に対して有益になり得る研修会などの情報提供をより一層行えるようにつとめてまいります
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19	2			・連絡ノートに詳しく書かれていて送迎時でも伝えられる	・引き続き、職員が連絡ノートや送迎での受け渡しを活用することを意識し更なる共通理解が促進できるようにつとめてまいります
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21				・相談や面談でも真摯に悩みを聞いてくれる	・引き続き、ご本人様や保護者様の不安や困り感のお力になれるようにつとめてまいります
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21				・子供にも親にも共感の姿勢があると思う	・引き続き、ご本人様や保護者様の不安や困り感のお力になれるようにつとめてまいります
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	2	2	9		・運動会などのイベントを通じて保護者様同士などの交流の機会を設けております。今後もより一層交流が図れる機会になれるようにつとめてまいります
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	1				・引き続き、ご本人様や保護者様の不安や困り感のお力になれるようにつとめてまいります

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1				・引き続き、ご本人様や保護者様の不安や困り感のお力になれるようにつとめてまいります
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	1		2	・通信で発信してくれる	・定期発行物（りはなす通信など）を通じて発信を行なっております、今後もより一層良い情報を発信ができるようにつとめてまいります
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20			1		・引き続き、個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、ご本人様ならびに保護者様の安心をお渡しできるようにつとめてまいります
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1		5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17		1	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19			2		・引き続き、説明責任を果たせるようにつとめてまいります
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19			2		・引き続き、安全確保に最大の注意と対策を行うとともに、万が一事故が発生した際には説明責任を果たせるようにつとめてまいります
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20			1	・通所に慣れた様子が見られる	・今後も今以上に良質な支援を提供できるように努めてまいります
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	3			・楽しそうに話を聞かせてくれている	・今後も今以上に良質な支援を提供できるように努めてまいります
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	3			・利用前よりも出来るが増えているので感謝している ・職員によって不安な時がある	・今後も今以上に良質な支援を提供できるように努めてまいります

事業所における放課後等デイサービスの自己評価総括表

○事業所名	運動療育センターりはなすいとだ			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～	令和7年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～	令和7年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表検討会議日及び作成日	検討会議日 令和7年 2月 28日		作成日 令和7年 3月 1日	

○検討会議を行なった上での 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所で行われている、個別支援計画に係るサービス提供について、保護者の満足度が高い。自己評価では支援の前後での話し合いが不足している意見も見られている。	週一回の支援会議を通じて、各利用者の課題の状況や背景を関係職員に共有し、具体的な支援内容を話し合っている。	支援会議にて周知方法の更なる工夫を行う。その上で具体的な支援方法を考える取組を行うと同時に事業所として取り組みを行う。
2	モニタリング時や支援計画の説明時、また子育てに関する相談について、保護者の満足度が高い。自己評価でも適切に対応できている意見が大半を占めている。	傾聴を基本とした受容的な対応を心がけている。また、利用者の置かれた状況や心理的な状況などを大切にする視点を持つように対応している。	事業所に配備してある接遇マニュアルを再度各職員が確認を行い、その上で接遇などでは更に満足が高い対応を目指す。
3	日々の業務の中で保護者との連携について、保護者の満足度が高く共感的な対応を各職員が行なっている。	連絡ノートと送迎時を活用し連携できる方法と時間を大切にしている。	今後も細かい状況を伝えるために連絡ノートや送迎時での引き継ぎを活用する。その中で今以上に詳細な連絡交換を意識して取り組みを行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	当事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定されているが、利用者の関係者に対して十分に周知がされていない。	マニュアルの公表する方法の検討を行っていない。	事業所内に掲示してあるマニュアルの存在をお便りなどを使って周知する方法を検討を行い取り組みを進める。
2	当事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているが、十分に周知がなされていない。	連絡ノートや送迎時での引き継ぎを利用して周知を行なっているが、更なる周知方法の検討を行っていない。	年間行事が示されているプリントの作成を検討して取り組みを進める。
3	当事業所では、保護者向けの研修会の情報が利用者の関係者に対して十分に周知がされていない。	研修会の情報を適切に保護者に対して周知する意識が不足している。	地域の自立支援協議会などの連絡リストに事業所情報を登録し、研修会の情報を得た際には情報として保護者に提供する。